

事前のお知らせ



練馬のみどりを考えるフォーラムを開催 ～練馬のみどりを守る植樹のすゝめ～

と き 1月26日(日)開演 午後2時～4時30分(予定)(受付開始 午後1時30分)

と ころ 練馬区立勤労福祉会館(東大泉5-40-36)

23区で最も緑被率が高く、みどりが豊富な練馬区であるが、その「みどり」は減少しつつある。区が行った、平成18年度の調査では26.1%だった緑被率は、平成23年度の調査では25.4%まで減少しており、失われたみどりの回復が叫ばれている。

こうした状況を周知し、みどり豊かな練馬区を目指すため、26日、「練馬のみどりを考えるフォーラム」を開催する。

このフォーラムは、ボランティアで区内の植樹活動に取り組んでいる「練馬植樹推進会」と、区が協働して行う事業の一環であり、今回が初めての開催。当日は、基調講演に続き、「練馬のみどり」のあり方に関するパネルディスカッションも行う。

(入場無料、定員135名、当日会場受付。主催:練馬区、練馬区協働提案事業実施団体「練馬植樹推進会」)

【基調講演】

樹木の診断や治療、樹木保護に関する知識の普及や指導を行う「樹木医」の制度を確立した堀大才氏を講師に迎え、講演を行う。都市部での樹木の治療や、緑化技術の開発にも携わっている堀氏から、「練馬のみどり」を考える際に必要となる、多角的な視点について紹介がある。

テーマ:都市における樹木・樹林の役割と手入れ

講演者:特定非営利活動法人樹木生態研究会 代表理事 堀 大才氏
(東京農業大学非常勤講師(樹木医学)、(財)日本緑化センター樹木医研修講師、樹木医学会 幹事)

【練馬植樹推進会】

区の掲げる「みどり30推進計画」(※)を、区・事業者と当団体を含めた区民との三者協働で推進し、練馬のみどりの回復に努めることを目的としているボランティア団体。平成22年4月に設立し、区民22名で構成。(平成26年1月現在)

民家の庭に苗木を無料で植樹し、身近なみどりを広げるとともに、みどりを回復することの重要性を啓発している。平成23年12月には、植樹通算1,000本を達成した。この植樹運動は、区と協働して行う「練馬区協働提案事業制度(平成25年度)」として採択されており、今年度は約120本の植樹を予定している。

(※ 現在の子どもたちが大人として活躍する概ね30年後に、緑被率を30%にすることを目指した計画。かつての質・量ともに、豊かなみどりを誇った姿を取り戻そうという願いが込められている。)

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部環境部みどり推進課みどり協働係 電話 03-5984-2418

練馬のみどりを考えるフォーラム

【主催】練馬区協働提案事業実施団体 練馬植樹推進会 【協力】練馬区緑化協力員 ほか

1月26日(日) 午後2時(受付開始 午後1時30分)

会場 練馬区立勤労福祉会館(練馬区東大泉5-40-36) 西武池袋線大泉駅南口 練馬区民センター 練馬区民センター 練馬区民センター

参加費 無料(事業申し込み不要)

基調講演

講演テーマ 都市における樹木・樹林の役割と手入れ

講演者 特定非営利活動法人樹木生態研究会 代表理事 堀 大才氏

東京農業大学の非常勤講師(樹木医学)、(財)日本緑化センターの樹木医研修講師、樹木医学会 幹事

基調講演を受けて

パネルディスカッション

パネリスト

- JA東武おおば 常務理事 渡邊 和基氏
- 練馬のみどりの会 代表理事 藤部 俊介氏
- 練馬区のみどり推進課 課長 毛塚 久氏
- 練馬植樹推進会 会長 伊藤 金吾氏

コーディネーター

練馬植樹推進会 相談役 佐藤 勝彦氏

事務局

練馬区協働提案事業実施団体 練馬植樹推進会代表 高野 秀俊

電話 6760-0095(午前9時から午後5時まで)

練馬区